

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	熊本	氏名	高倉直
活動地区	熊本河川国道事務所 九州中央自動車道		
活動年月日	令和5年12月7日		
活動内容	<p>○令和6年2月11日開通予定の九州中央道山都中島西ICから山都通潤橋IC間の共用前の現地確認を、事務所・出張所担当職員と防災エキスパート会熊本地区会員との合同現地確認を実施したので報告する。</p> <p>○個別点検箇所 ①14k000～16k000付近及び18k000～終点山都通潤橋IC間において道路本線の切り盛り箇所や排水系統及び道路付属施設等について、供用開始前の現地確認を行った。</p> <p>○防災エキスパート会からの出席者 米村英継、田中泰之、高倉直、芹口臣也、南部誠一、斎藤啓嗣、今村隆浩 以上参加者：7名</p> <p>○熊本河川国道事務所 古賀総括、川床管理官、江隈道路管理第一課長、安藤雅俊出張所長、 水田・三嶋建設監督官他10名</p>		
活動写真等	<p>合同現地確認後の参加者</p> 		

[様式一4]

平常-32

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	大分地区	氏名	春田 義信
活動地区	大分河川国道事務所		
活動年月日	令和5年12月06日（水）10：00～12：00		
活動内容	<p>◎三光本耶馬渓道路（田口IC～青の洞門・羅漢寺IC）供用開始前点検</p> <p>◎場 所：三光本耶馬渓道路（田口IC～青の洞門・羅漢寺IC）</p> <p>◎出席者：■大分河川国道事務所 濱課長、平野監督官、外約10名 ■大分県中津土木事務所 加藤総括 外約10名 ■中津監督官補助員 2名 ■道路技術サポート会 春田、八木、總崎、河野、渡辺、山中</p> <p>目的 今年度供用開始予定の三光本耶馬渓道路（田口IC～青の洞門・羅漢寺IC）の供用開始前点検を行い、供用に耐えうる施工の確実性、安全性今後のメンテナンス性等について助言やアドバイスを行うものである。</p> <p>助言等内容 ①八面山トンネル起点側OVの路面排水が直接本線に流れ落ちる構造である、横引きで排水処理を行うべき。 ②八面山トンネル終点坑口付近のPGM目地が異常に裂けているので原因究明と補修を行うべき。 ③下屋形橋A1部のガードレールが橋梁可動部を跨いで壁高欄に固定されており橋の可動が拘束されている。改善を行うべき。（上・下線とも） ④トンネル供用開始直後はホコリ・レイタンス等が白煙状となり発生する。事前に高圧洗浄機等で十分に清掃を行う必要あり。 ⑤跡田川橋はバチ型で径間非対称のバランスの悪いラーメン橋である。今後、耐久性には注意が必要。 ⑥田口IC付近の高盛土区間は山から水が来て過去何度も流された経緯がある。排水工の管理メンテナンスには十分な注意が必要。 ⑦田口IC付近の高盛土区間のアンダーBOX坑口上部（上・下線とも）に、法面からの落下物防止フェンスが必要と思われる。 ⑧標識類で「青の洞門」の英語表記が「Aonodomon」と表記されている。一般的に違和感があり問い合わせ等が考えられるのでしっかりした回答を持っておくと良い。</p>		
活動写真等	    		

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所 属 地 区	大隅河川国道事務所地区	氏 名	古賀 省三 市来 哲次
活 動 地 区	大隅河川国道事務所 2F 防災対策室		
活 動 年 月 日	令和 5 年 12 月 11 日 (月) 【13:15 ~ 16:15】		
活 動 内 容	<p>【桜島砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会の審査】</p> <p>1. 目的</p> <p>○全国砂防関係工事安全施工管理研究発表会(平成8年12月に長野と新潟県の県境で土石流が発生し工事作業員14名もの尊い命を奪った蒲原沢土石流災害を教訓に、施工条件の厳しい砂防工事現場における災害を防止するため、平成11年から実施されている安全施工に関する研究や対策に関する全国規模の発表会)が毎年開催されている。この研究発表会で桜島の直轄砂防から発表する2課題を決定するため、発表会を踏まえた審査会が行われた。</p> <p>2. 実施内容</p> <p>○桜島は全国で最も活発に活動している活火山であり、砂防工事にあたっては噴石・火山ガスや土石流等の発生に備えた、工事従事者の安全の確保が求められている。</p> <p>○今回の発表会は、桜島の直轄火山砂防工事が令和4年度に実施された野尻川、春松川、持木川、有村川、黒神川における砂防堰堤工・床固工・渓流保全工・除石工工事の安全対策についてWEB方式で行われた。</p> <p>○審査会は、大隅河川国道事務所関係者(事務所長、技術副所長、工務第一課長、事業対策官、桜島出張所長)に、防災エキスパート協会大隅支部より2名(古賀・市来)が加わり実施された。10課題の工事業者からの発表及び質疑応答を踏まえ、論文内容だけでなく発表内容に対して、噴石対応・土石流対応及び他の安全対策の有益性等について総合評価が行われ、2課題(優秀賞、特別賞)が選出された。発表者等への技術副所長からの講評の後、連絡協議会会長(事務所長)より発表された。</p>		
活 動 写 真 等	   		